



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 曙ブレーキ工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7238 URL <https://www.akebono-brake.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 宮地 康弘
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡田 拓信 (TEL) 048-560-1501
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	97,443	△34.6	△1,973	—	△3,449	—	△6,196	—
2020年3月期第3四半期	148,885	△20.1	2,388	2.8	267	△54.8	20,945	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △6,793百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 22,518百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△46.39	—
2020年3月期第3四半期	155.55	91.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	132,582	46,676	31.2
2020年3月期	148,959	53,874	32.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 41,411百万円 2020年3月期 48,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	134,300	△30.5	△900	—	△2,900	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

事業再構築のための各施策については進行途上の施策もあり、現時点では、特別損益の予想が見通せず、親会社株主に帰属する当期純利益及び1株当たり当期純利益の業績予想につきましては、引き続き、未定とさせていただきます。事業再生計画の実施状況を踏まえ、改めてお知らせいたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期3Q	135,992,343株	2020年3月期	135,992,343株
2021年3月期3Q	2,413,456株	2020年3月期	2,432,508株
2021年3月期3Q	133,571,431株	2020年3月期3Q	133,337,656株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社グループをとりまく経営環境の変化、市場の動向、為替の変動等の様々な要因により、大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料6ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下の通りです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	20,111.50	0.00	—		
2021年3月期(予想)				45,000.00	65,111.50

(注)上記のA種類株式の発行数は、20,000株であります。A種類株式は、2019年9月30日に発行しております。

なお、2021年3月期第1四半期の配当は、当初2020年3月期期末に予定していた配当が、第119回定時株主総会を延期したことに伴い、A種類株式の剰余金の配当に係る基準日も併せて変更したことによるものです。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

2021年3月期第1四半期のA種類株式の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	第1四半期末
1株当たり配当金	20,111円50銭
配当金総額	402百万円

(注)純資産減少割合 0.009

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報)	13
(重要な後発事象)	13
3. 補足情報	
2021年3月期 第3四半期連結累計期間 決算概要	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの新型コロナウイルス感染症の影響による受注の動向は、4月～6月(暦年ベース)においては、自動車販売の世界的な需要減少にともなう生産調整が行われる厳しい状況となりました。7月～9月においては、地域差はあったものの、自動車需要は徐々に回復に向かいました。10月～12月においては、日本及びアジアでは、前年同期程度まで受注が回復してきており、欧州では、前年同期を上回る受注回復となりました。

当第3四半期連結累計期間(注)における当社グループの業績は、米国では完成車メーカーのモデルチェンジによって生産終了となる製品が増えたことに加え、特に上期においては当社が生産拠点を有する全地域において新型コロナウイルス感染症の影響を受け、お客様である完成車メーカーの工場稼働停止や事業活動の制限などがあったことにより、当社グループの受注も大きく減少しましたが、第3四半期には一部回復し、売上高は974億円(前年同期比34.6%減)となりました。利益面では、事業構造改革の一部の施策の効果、及び各国政府の休業補償などの補填はありましたが、急激な受注減少による影響をカバーできず、20億円の営業損失(前期は営業利益24億円)となりました。経常利益については、円高の影響により為替差損を計上したこともあり、34億円の経常損失(前期は経常利益3億円)となりました。

特別損益については、米国の生産2拠点の閉鎖関連損失21億円(第1四半期のリース設備の中途解約損失9億円に加え、第3四半期では設備売却損、退職金及び移管費用など12億円)を含む事業構造改善費用22億円を計上しました。当該損失は、事業再生計画に沿った計上であり、これにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は62億円の損失(前期は209億円の利益)となりました。

(単位：億円)

	前期	当期	増減	増減率
売上高	1,489	974	△514	△34.6%
営業利益	24	△20	△44	－%
経常利益	3	△34	△37	－%
税金等調整前四半期純利益	229	△56	△284	－%
親会社株主に帰属する四半期純利益	209	△62	△271	－%

地域セグメントごとの業績は次の通りです。

(単位：億円)

	売上高				営業利益			
	前期	当期	増減	増減率	前期	当期	増減	増減率
日本	545	431	△114	△20.9%	20	10	△10	△50.8%
北米	627	318	△309	△49.3%	△25	△39	△14	－%
欧州	107	104	△3	△2.8%	0	1	1	－%
中国	120	84	△37	△30.3%	6	3	△3	△55.5%
タイ	56	37	△19	△34.5%	3	1	△2	△60.7%
インドネシア	152	85	△67	△43.9%	18	3	△15	△84.0%
連結消去	△118	△84	34	－%	2	2	0	21.9%
連結	1,489	974	△514	△34.6%	24	△20	△44	－%

① 日本

新型コロナウイルス感染症の影響により5月を底に受注が大幅に減少したものの、6月以降は順調に回復しており、当第3四半期には前年同期程度まで回復してきておりますが、売上高は431億円(前年同期比20.9%減)にとどまりました。

利益面では、前期に行った本社間接系の早期退職措置及び固定資産の減損損失の計上による労務費及び減価償却費の減少、報酬・給与等の減額、経費削減の効果はありましたが、大幅な売上減少の影響をカバーするには至らず、10億円の営業利益(前年同期比50.8%減)となりました。

② 北米

完成車メーカーのモデルチェンジによって生産終了となる製品が増えたことにより、過年度から引き続き受注が大幅に減少したことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により受注が4月は9割減少、5月は8割減少(ともに前年同月比)し、6月以降は徐々に回復してきているものの、売上高は318億円(前年同期比49.3%減)となりました。

利益面では、前期から継続して進めてきた人員の適正化及び生産性改善の効果はありましたが、大幅な売上減少の影響が大きく、39億円の営業損失(前期は営業損失25億円)となりました。

③ 欧州

新型コロナウイルス感染症の影響により期初に受注が大幅に減少し、その後6月以降はスロバキア工場を受注が急回復し、当第3四半期には前年同期を上回る回復となったものの、欧州全体の売上減少をカバーするには至らず、売上高は104億円(前年同期比2.8%減)となりました。

利益面では、当第3四半期の受注の急回復や、労務費の削減効果もあり、1億円の営業利益(前期は営業利益2百万円)となりました。

④ 中国

新型コロナウイルス感染症の影響により、2月上旬から中旬にかけて工場の稼働を停止し、それ以降は受注が回復してきたものの、売上高は84億円(前年同期比30.3%減)と大きく落ち込みました。

利益面では、政府による社会保険料の減免や、経費削減の効果はありましたが、売上減少の影響が大きく、3億円の営業利益(前年同期比55.5%減)となりました。

⑤ タイ

タイの経済成長の鈍化及び新型コロナウイルス感染症の影響により自動車販売台数が伸び悩んだことに加え、米系完成車メーカーのタイ市場撤退や、海外向け輸出製品の受注減少などもあり、売上高は37億円(前年同期比34.5%減)となりました。

利益面では、生産・調達の合理化に加え、基幹部品である鋳物を外部購入から当社の鋳物工場での内製に切り替え、付加価値を高めたことも寄与し、営業利益は1億円(前年同期比60.7%減)と黒字を維持しました。

⑥ インドネシア

インドネシアの経済成長の鈍化、自動車関連のローン規制強化及び一部日系完成車メーカーの撤退に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、インドネシア国内及び欧州向けの受注がともに減少し、売上高は85億円(前年同期比43.9%減)となりました。

利益面では、人員適正化による労務費の削減、原材料市場価格上昇の価格転嫁、生産性改善や購入部品の内製化、現地調達への切り替えなどの合理化効果があったものの、売上減少の影響が大きく、営業利益は3億円(前年同期比84.0%減)となりました。

(注) 当第3四半期連結累計期間とは

(1) 北米・中国・タイ・インドネシア : 2020年1月～2020年9月

(2) 日本・欧州 : 2020年4月～2020年12月 となります。

このような厳しい事業環境下ではありましたが、当社グループは、事業再生計画に沿って、以下の事業構造改革の各施策を着実に進めてまいりました。

〔日本〕

日本における国内4工場の縮小については、工場の生産最適化に向けた改善活動を鋭意実施しております。また国内工場から海外工場への生産移管については、完成車メーカーとの調整により多少進捗の遅れがあるものの、国内工場間の生産移管は計画より予定を早めて進めております。

なお、2020年12月1日付「国内生産拠点における早期退職措置に関するお知らせ」にて公表したとおり、国内生産再編にともなう人員適正化を目的に、国内生産拠点の社員を対象として早期退職者の募集を行っております(募集期間：2020年12月21日～2021年2月12日)。

〔北米〕

米国の生産2拠点の閉鎖については、テネシー州の工場は1か月予定を早め7月末に、サウスカロライナ州の工場は計画どおり9月末までに完了いたしました。現在は、これら2工場の土地・建物などの売却処理を進めております。

〔欧州〕

欧州の生産拠点及び開発拠点については、当社に損失が生じない形での提携又は売却の交渉を進めておりましたが、以下の内容に変更することといたしました。

ハイパフォーマンスブレーキ(高性能量販車用ブレーキ)を製造しているスロバキア工場では、営業利益の黒字化が実現されたこと及び将来の新規受注可能性が高いことなどから、経済性が事業再生計画を上回ることが予想されるため、存続することといたしました。また、ドイツの拠点についても、欧州顧客との窓口機能及び研究開発拠点として新規受注獲得に貢献でき、スロバキア工場の存続にとって必須であるとの認識から、存続することといたしました。

フランスのアラス工場につきましては、当初の計画通りの提携又は売却が実現できなかったため、既存製品の生産移管等が完了した後、閉鎖の上、解散することといたしました。

今後も事業再生計画の下、全ての地域・拠点・事業部門において、聖域なき構造改革を実行し、黒字化の実現を目指してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(単位：億円)

(資産の部)	前期末	当期末	増減	(負債・純資産の部)	前期末	当期末	増減
流動資産	801	676	△125	流動負債	356	281	△75
現金及び預金	327	254	△73	仕入債務	202	168	△34
売上債権	309	260	△49	有利子負債	40	21	△19
たな卸資産	141	133	△8	その他	115	93	△22
その他	24	29	5	固定負債	594	578	△17
固定資産	689	650	△39	有利子負債	500	482	△18
有形固定資産	563	522	△41	その他	94	96	2
投資有価証券	46	53	7	負債合計	951	859	△92
その他	79	74	△5	純資産	539	467	△72
総資産	1,490	1,326	△164	負債・純資産	1,490	1,326	△164

(資産)

当期末の資産は1,326億円と前期末比164億円の減少となりました。

流動資産は676億円と前期末比125億円の減少となりました。これは主に、新型コロナウイルス感染症の影響による売上高の減少などにより売上債権が49億円減少したことに加え、米国の生産2拠点の閉鎖に関連する支出などにより現金及び預金が73億円減少したことによるものです。固定資産は650億円と前期末比39億円の減少となりました。これは主に、減価償却費の計上などにより有形固定資産が41億円減少したことによるものです。

(負債)

当期末の負債は859億円と前期末比92億円の減少となりました。

流動負債は281億円と前期末比75億円の減少となりました。これは主に、売上債権の減少にともない仕入債務が34億円減少したことに加え、米国2拠点の閉鎖に関連する支出などによりリース債務が26億円減少したことによるものです。固定負債は578億円と前期末比17億円の減少となりました。これは主に、長期借入金が12億円、リース債務が6億円減少したことによるものです。なお、有利子負債残高502億円から「現金及び預金」を控除したネット有利子負債残高は249億円であります。

(純資産)

当期末の純資産は467億円と前期末比72億円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失62億円の計上に加え、円高の影響により為替換算調整勘定が11億円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当期末の現金及び現金同等物は、前期末比73億円減少の254億円となりました。

(単位：億円)

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	28	△12	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70	△24	46
計			
(フリー・キャッシュ・フロー)	△42	△36	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	189	△38	△227

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

主な要因として、税金等調整前四半期純損失△56億円、減価償却費45億円及び運転資本の増減+17億円があったものの、事業再編による支出24億円などにより、資金が減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主な要因として、日米を中心とした設備投資により有形及び無形固定資産の取得による支出が26億円となり、資金が減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主な要因として、ファイナンス・リース債務の返済による支出31億円及び配当金の支払額4億円などにより、資金が減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した通り、通期の連結業績予想を売上高1,343億円、営業損失9億円、経常損失29億円で修正しております。

また、親会社株主に帰属する当期純利益及び1株当たり当期純利益の業績予想につきましては、引き続き、未定とさせていただきます。事業再生計画の実施状況を踏まえ、改めてお知らせいたします。

<2021年3月期地域別業績予想：前回予想と今回予想との差異>

(単位：億円)

	売上高				営業利益			
	前回予想	今回予想	増減額	増減率	前回予想	今回予想	増減額	増減率
日本	556	603	+47	+8%	△10	17	+27	—
北米	399	403	+4	+1%	△58	△48	+10	—
欧州	131	144	+13	+10%	△1	2	+3	—
アジア	286	300	+14	+5%	13	18	+5	+38%
連結消去	△106	△107	△1	—	3	2	△1	△33%
合計	1,266	1,343	+77	+6%	△53	△9	+44	—

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,687	25,350
受取手形及び売掛金	30,922	26,047
商品及び製品	4,560	4,679
仕掛品	1,585	1,532
原材料及び貯蔵品	7,940	7,123
その他	2,545	3,017
貸倒引当金	△155	△159
流動資産合計	80,084	67,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,506	49,811
減価償却累計額	△37,448	△37,836
建物及び構築物 (純額)	13,058	11,976
機械装置及び運搬具	154,268	147,328
減価償却累計額	△132,263	△127,452
機械装置及び運搬具 (純額)	22,005	19,877
土地	13,928	13,817
建設仮勘定	5,871	4,965
その他	22,767	22,552
減価償却累計額	△21,319	△20,955
その他 (純額)	1,448	1,597
有形固定資産合計	56,311	52,232
無形固定資産		
投資その他の資産	2,663	2,284
投資有価証券	4,629	5,343
退職給付に係る資産	3,094	3,174
繰延税金資産	626	491
その他	1,553	1,471
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	9,900	10,478
固定資産合計	68,875	64,993
資産合計	148,959	132,582

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,223	16,785
短期借入金	316	994
1年内返済予定の長期借入金	300	300
リース債務	3,343	763
未払法人税等	751	255
未払費用	6,266	5,738
賞与引当金	1,388	368
設備関係支払手形	230	211
その他	2,831	2,713
流動負債合計	35,648	28,128
固定負債		
社債	2,000	2,000
長期借入金	46,527	45,319
リース債務	1,478	846
役員退職慰労引当金	28	29
退職給付に係る負債	2,459	2,371
繰延税金負債	1,396	1,598
再評価に係る繰延税金負債	1,668	1,668
その他	3,881	3,948
固定負債合計	59,438	57,778
負債合計	95,086	85,906
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,939	19,939
資本剰余金	19,933	2,366
利益剰余金	3,813	14,777
自己株式	△1,625	△1,612
株主資本合計	42,060	35,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,881	2,410
土地再評価差額金	3,911	3,911
為替換算調整勘定	937	△128
退職給付に係る調整累計額	△379	△252
その他の包括利益累計額合計	6,350	5,941
新株予約権	13	3
非支配株主持分	5,452	5,263
純資産合計	53,874	46,676
負債純資産合計	148,959	132,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	148,885	97,443
売上原価	133,252	89,299
売上総利益	15,633	8,144
販売費及び一般管理費	13,244	10,116
営業利益又は営業損失(△)	2,388	△1,973
営業外収益		
受取利息	41	47
受取配当金	160	157
持分法による投資利益	9	—
雇用調整助成金	—	591
その他	195	201
営業外収益合計	405	998
営業外費用		
支払利息	1,441	782
為替差損	272	629
製品補償費	169	72
休業手当	—	501
その他	644	490
営業外費用合計	2,526	2,474
経常利益又は経常損失(△)	267	△3,449
特別利益		
固定資産売却益	84	39
投資有価証券売却益	49	—
債務免除益	56,000	—
補助金収入	27	33
新株予約権戻入益	10	1
その他	500	—
特別利益合計	56,669	74
特別損失		
固定資産除売却損	118	22
減損損失	24,948	—
投資有価証券売却損	16	—
事業構造改善費用	1,184	2,179
リコール関連損失	7,804	—
特別損失合計	34,070	2,200
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	22,866	△5,575
法人税、住民税及び事業税	1,254	433
法人税等調整額	△258	42
法人税等合計	996	476
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,870	△6,051
非支配株主に帰属する四半期純利益	926	145
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	20,945	△6,196

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,870	△6,051
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,081	528
為替換算調整勘定	△594	△1,408
退職給付に係る調整額	162	138
その他の包括利益合計	648	△742
四半期包括利益	22,518	△6,793
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,777	△6,605
非支配株主に係る四半期包括利益	741	△188

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	22,866	△5,575
減価償却費	6,900	4,450
減損損失	24,948	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△66	△4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	497	110
受取利息及び受取配当金	△201	△205
支払利息	1,441	782
持分法による投資損益(△は益)	△9	—
固定資産除売却損益(△は益)	34	△17
投資有価証券売却損益(△は益)	△33	—
債務免除益	△56,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	842	4,261
たな卸資産の増減額(△は増加)	520	419
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,803	△2,966
その他	6,089	1,467
小計	5,026	2,720
利息及び配当金の受取額	201	205
利息の支払額	△1,403	△779
法人税等の支払額	△1,195	△834
法人税等の還付額	181	26
事業再編による支出	—	△2,396
事業再編による収入	—	82
その他	—	△200
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,809	△1,176
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△7,492	△2,591
国庫補助金等による収入	36	—
有形及び無形固定資産の売却による収入	145	116
投資有価証券の取得による支出	△6	△0
投資有価証券の売却による収入	229	—
その他	61	53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,027	△2,422
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	478	715
長期借入金の返済による支出	△127	△675
株式の発行による収入	19,928	—
配当金の支払額	—	△402
非支配株主への配当金の支払額	△422	△373
セール・アンド・リースバックによる収入	108	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,026	△3,060
自己株式の純増減額(△は増加)	0	△0
その他	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,939	△3,795
現金及び現金同等物に係る換算差額	△117	56
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	14,604	△7,337
現金及び現金同等物の期首残高	18,794	32,687
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,398	25,350

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年7月30日開催の定時株主総会の決議に基づき、その他資本剰余金を17,160百万円減少し、同額をその他利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。なお、これによる株主資本の合計金額への影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への 売上高	47,837	60,910	9,888	11,762	5,247	13,242	148,885	—	148,885
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6,627	1,758	850	268	352	1,952	11,808	△11,808	—
計	54,464	62,668	10,738	12,030	5,600	15,194	160,693	△11,808	148,885
セグメント利益 又は損失(△)	2,039	△2,524	2	579	276	1,825	2,197	192	2,388

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア	全社・消去	合計
減損損失	23,894	928	126	—	—	—	—	24,948

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への 売上高	38,411	30,207	9,795	8,315	3,405	7,310	97,443	—	97,443
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,656	1,548	642	63	261	1,212	8,382	△8,382	—
計	43,066	31,755	10,437	8,379	3,666	8,522	105,825	△8,382	97,443
セグメント利益 又は損失(△)	1,003	△3,940	72	257	109	293	△2,206	234	△1,973

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2021年3月期 第3四半期連結累計期間 決算概要

2021年2月10日

1. 連結業績

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2019.4～2019.12)		当第3四半期連結累計期間 (2020.4～2020.12)		増減	増減率
売上高	(100.0)	148,885	(100.0)	97,443	△51,442	△34.6%
売上総利益	(10.5)	15,633	(8.4)	8,144	△7,489	△47.9%
営業利益	(1.6)	2,388	(-)	△1,973	△4,361	-
経常利益	(0.2)	267	(-)	△3,449	△3,716	-
特別損益		22,599		△2,127	△24,726	-
税前四半期純利益	(15.4)	22,866	(-)	△5,575	△28,442	-
法人税等・調整額		996		476	△520	△52.2%
非支配株主に帰属する四半期純利益		926		145	△780	△84.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	(14.1)	20,945	(-)	△6,196	△27,141	-
総資産	(前期末)=2020年3月期	148,959	(当期末)	132,582	△16,377	△11.0%
純資産	(前期末)	53,874	(当期末)	46,676	△7,197	△13.4%
自己資本	(前期末)	48,409	(当期末)	41,411	△6,999	△14.5%
自己資本比率	(前期末)	32.5%	(当期末)	31.2%	△1.3%	
現預金	(前期末)	32,687	(当期末)	25,350	△7,337	
有利子負債	(前期末)	53,965	(当期末)	50,221	△3,744	
ネット有利子負債	(前期末)	21,278	(当期末)	24,871	3,593	
ネットD/Eレシオ	(前期末)	0.44倍	(当期末)	0.60倍	+0.16倍	
営業CF		2,809		△1,176	△3,985	
(内数：減価償却費)		(6,900)		(4,450)	(△2,450)	
投資CF		△7,027		△2,422	4,605	
(内数：設備投資)		(△7,492)		(△2,591)	(4,901)	
フリーCF		△4,218		△3,598	620	
財務CF		18,939		△3,795	△22,735	
連結子会社数	(前期末)	24社	(当期末)	24社	-	
期中平均レート	USD	USD 109.2円	USD	107.3円	△2.0円	
	EUR / CNY	EUR 121.1円/ CNY 15.9円	EUR 122.6円/ CNY 15.3円	1.5円/	△0.6円	
	THB / IDR	THB 3.5円/ IDR 0.008円	THB 3.4円/ IDR 0.007円	△0.1円/	△0.000円	

2. 地域別業績

(単位：百万円)

		前第3四半期連結累計期間 (2019.4～2019.12)		当第3四半期連結累計期間 (2020.4～2020.12)		増減	増減率	為替換算 影響
売上高	日本		54,464		43,066	△11,398	△20.9%	-
	北米		62,668		31,755	△30,913	△49.3%	△577
	欧州		10,738		10,437	△301	△2.8%	126
	中国		12,030		8,379	△3,651	△30.3%	△328
	タイ		5,600		3,666	△1,934	△34.5%	△97
	インドネシア		15,194		8,522	△6,672	△43.9%	△467
	連結消去		△11,808		△8,382	3,425	-	-
	連結		148,885		97,443	△51,442	△34.6%	△1,343
営業利益	日本	3.7%	2,039	2.3%	1,003	△1,037	△50.8%	-
	北米	-	△2,524	-	△3,940	△1,416	-	72
	欧州	0.0%	2	0.7%	72	70	-	1
	中国	4.8%	579	3.1%	257	△321	△55.5%	△10
	タイ	4.9%	276	3.0%	109	△168	△60.7%	△3
	インドネシア	12.0%	1,825	3.4%	293	△1,532	△84.0%	△16
	連結消去	-	192	-	234	42	21.9%	-
	連結	1.6%	2,388	-	△1,973	△4,361	-	43